

あびこ型「地産地消」推進協議会

会報 第49号

2019年3月15日発行



～おいしいカレーを支える、食材の花たち



①カレーの色付けに欠かせません



②黒はスパイシー、白はマイルド



③めしべを香りづけに使います



④球根を炒めて隠し味に！



⑤タイカレーでおなじみ



⑥福神漬と並ぶ、カレーの薬味

★本会報はカラーでご覧になれます。

当協議会ホームページの <https://abiko-chisan.com/newsletter>

または QR コードから、会報「第49号」をお読みください。



①ウコン ②コショウ ③サフラン ④ニンニク ⑤パクチー(コリアンダー)⑥ラッキョウ

1. 我孫子市第 37 回農業まつり

総務部会

農産物共進会

～あびこ No.1 の農産物・農産物加工品をみんなで見つけよう！～

平成 30 年 11 月 17 日（土）、手賀沼親水広場 水の館で開催され地産地消推進協議会として参加しました。農業者が丹精を込めて栽培した農産物に来場者が投票し、生産者を表彰します。出品した農産物は表彰式終了後から販売されました。催しとして野菜カービング体験・我孫子高等技術専門校の造園作品展示、川村学園女子大学とコラボ企画の新作お弁当の販売、地元農産物を使った豚汁、あげ餅・農家自慢の加工品の販売などが提供されました。また無料配布コーナーとして苗木、ポップコーン、わたあめ、ガス風船、紅白餅まきなどが有りました。



出品された農産物

地産地消協議会では3階研修室で「エコ農産物推進部会」による映画「いただきます」の上映会と料理研究家の大瀬由生子さんの食育トークが同時開催されました、上映会後には我孫子農作物の昼食会に 70 人の方が参加されました。「食育交流部会」は紙芝居・「広報部会」は野菜の花当てクイズ・アンケートを行いました。紙芝居では、野菜を食べるとおなかの調子が良いことを、分かりやすいストーリーと工作物で説明しました。子供たちもお母さんも大喜びです。

当日は、斎藤会長代行より、第15期援農ボランティア養成講座に参加された方々に修了証が手渡されました。我孫子市の農業発展に向けて、一緒に頑張りましょうとの話がありました。



援農ボランティア養成講座修了式



野菜クイズ&アンケート（広報部会）



紙芝居（食育交流部会）

2. 千葉県女性農業委員の会

総務部会

平成30年11月26日(月)、千葉県女性農業委員(東葛地区)が水の館の視察に訪れ、水の館研修室において、講演会を開かれました。

千葉県内の千葉市、船橋市などの女性農業委員18名が参加されました。講演会では、当協議会齋藤会長代行から「あびこ型「地産地消」推進協議会の取り組み」をテーマに講演を行いました。「我孫子市における当協議会設立の目的」、「援農ボランティアの趣旨」などを説明し、続いて「援農ボランティアの活動方法やボランティアの心得」など具体的な活動の仕組みを説明しました。また、援農ボランティア活動での往復の交通事故、農作業による怪我などについては、「我孫子市市民公益活動補償制度」の対象になっていること、また毎年募集している今年で15期になる「援農ボランティア養成講座」について説明しました。

千葉県の女性農業委員は種々の勉強会を実施されており、今回は、我孫子市における当協議会の活動内容や援農ボランティア制度について、大いに関心を持たれていました。講演後の質問では、ボランティア団体の維持の大変さや援農ボランティアの数の減少などにも関心を寄せて、貴重な講演であったとの感想をいただきました。

特に、援農ボランティア養成講座は、他地区にない方法でのボランティア登録の方法とのことで、特に関心を持たれ、今後も、各女性農業委員の地元での活動に役立てるため、あびこ型「地産地消」推進協議会の具体的な講演やミーティングを依頼されました。

女性農業委員は全国的には「全国女性農業委員ネットワーク」があります。～男女共同参画の実現による農業・農村の発展を目指して～として、平成23年3月に全国33都道府県の女性委員が集まり、設立総会が開かれました。千葉県での「千葉県女性農業委員の会」は平成16年に発足し、その時の女性会員は24名でした。



齋藤会長代理から女性農業委員に講演(水の館研修室にて)

3. 年末の集い

総務部会

平成30年12月15日(土) けやきプラザにて、41名の方が参加して地産地消協議会の年末の集いを開催しました。今年も福祉施設『みんなの広場「風」』さんのご協力により、我孫子の野菜をふんだんに使った美味しいお料理を囲んで、和やかな時間を過ごしました。各部会からの活動状況の報告もありました。星野市長もお忙しい中、ご参加いただき、当協議会の一年間の活動にねぎらいの言葉を述べられました。市長からは、学校給食を通じて地元野菜の美味しさを市民に伝えたいとの強い思いをいただきました。農家の皆さんのご挨拶は、毎年のことながら、ユーモアたっぷりでお話しされ、会場が笑いの渦に包まれました。

協議会恒例、参加者全員による野菜争奪じゃんけん大会で盛り上がり5名の方が新鮮野菜を勝ち取りました。興奮の中、大炊あびベジ代表の中締めで年末の集いを終わりました。



懇親会の模様



農家のみなさんのご挨拶

4. ちびっこ餅つき大会2019の開催

総務部会

当協議会が主催する恒例の「新年ちびっ子餅つき大会2019」は1月19日(土) 冬晴れとなった水の館南側広場において開催されました。水の館に移転して2回目の大会となり、大会本部や各イベント用のテントを前日に準備するなど昨年からのノウハウを生かし、また、農家さんには前日から「もち米」を水に浸し、十分蒸すことが出来るよう準備いただきました。餅つきは前年同様、10時から80分毎に合計3回行い、つき手となる子供さんは1回目:132人、2回目:140人、3回目:90人余りで約400人ものちびっ子が楽しんでくれました。全体の参加者は推定1700人ものお客さんで広場に



子供たちの餅つき体験



磯部焼き餅の販売

ぎわいました。もちをついた子供さんには丸餅または手づくりおもちやお土産として提供いたしました。みんなでつき終えたお餅は、終了後近くの「滝前不動堂」(岡発戸)へお供え餅として奉納しました。餅つきの隣では例年通り、あびこふるさと会による「祝い太鼓」と「獅子舞」が餅つきに合わせて演奏され、ちびっ子たちも楽しく見学していました。

恒例の売店では、「ふるまいお汁粉」や「磯辺焼」が、また、特製うどんやけんちんも完売し、あびこんもおにぎりや唐揚げなど美味しいものもたくさん販売されました。また、あびこ子どもネットワークの皆さんにより、風船を使ったバルーンアートや手づくりおもちゃなどが無料提供されました。その隣では我孫子市内の

絵描きさんによりこどもさんの「似顔絵」コーナーがあり、ちょっとすまし顔でモデルになりきっていました。また市内の川村学園女子大学の学生さん達にご協力いただきました。少し肌寒い風ではありましたが、近郊の子供さんたちにとって楽しいお正月となり、平成最後の年が幸せなよい年となることを祈念しました。

当日の運営や会場設営においては、我孫子市農政課の方々にご協力いただくことで、新年最初のイベントを無事終えることができました。本当にありがとうございました。

5. 第43回我孫子市消費生活展

広報部会 若王子

今年度の全体テーマは『安全な暮らし応援します』で参加8団体は生活の中の事故、健康、地球環境等の安全をそれぞれのテーマとして参加しております。

スタンプラリーは各団体毎に作成した質問を各団体ブースのパネルを見ながら問題を答え、各団体ごとに貰うスタンプは最後に「我・孫・子・市・消・費・生・活・展」に成るように順番に回って行くと完成します。

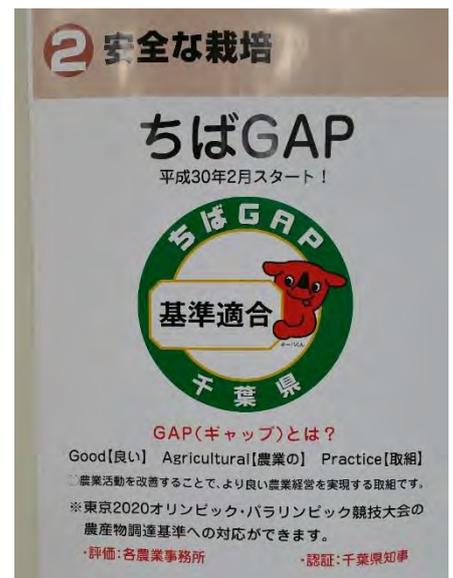
パネル展示のほかに、ピアノ演奏、子どもの遊びができるコーナー、家庭の省エネ診断コーナー、松戸検察審査協会コーナーなどがあり、ステージでは川村学園学生による「パネルシアター」・おもちゃ図書館で楽しめました。

当協議会の団体テーマは「安全な農作物」と言うことで、“安全な畑”

“安全な栽培” “安全な表示”そして“地元の安全な作物を応援します”の4枚のパネルでブースを飾りました。パネル1 “安全な畑”は畑の立地・

土壌を紹介しました、パネル2 “安全な栽培”では東京2020におけるオリンピック・パラリンピックに対応した一つの栽培方法、ちばGAP

(Good Agricultural Practice: 農業生産工程管理とは、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための取組のことです。)を取り上げました。パネル3 “安全な表示”では「食品表示法(平成25年)」改正に伴う、食品の表示方法について説明をしました。パネル4枚目の“地元の安全な作物を応援します”は私たち当協議会の活動紹介をしました。当協議会のブースでは



展示パネル(安全な栽培)

机に会報とリーフレットを置き、来場者にPRをしました。折り紙で作った人参・大根・トマト等の野菜は好評でした。パネルでは「ちばGAP」を初めて知ったと言う方が多く感じました。

消費生活展は例年と同様に市民プラザで2日間、8団体で2日間開かれ、入場者数は2月2日(土)358名、3日(日)380名、計738名でした。



学生による「パネルシアター」



当協議会の出展ブース

6. 編集後記

私事ですが、約4年半続けてきた援農ボランティアですが、外れることとなりました。4月からは念願の農業従事者となります。これまで作業をさせて頂いた農家の皆様、援農ボランティアの方々からは、本当に多くのことを教わりました。ありがとうございました。我孫子で農業をしますので、引き続き仲良くして頂けると幸いです。我孫子の農業発展のためにも頑張りましょう！

南 千春

☆お知らせ

会報表紙の題字「農あるまちづくり」を募集します！

・応募条件は2つだけ。

①「正方形」の紙にお書きください。②「背景は白または白っぽい色」

最近習字を始めた方の作品、ちぎり絵、野菜を並べて文字にした作品など、どんな作品もウェルカム！ひらがなや漢字でなく、ローマ字でも構いません。

できた作品を写真に撮って、下記メールアドレスにお送り頂くか、FAXまたは郵送で事務局までお送りください。(原本お返し希望の場合は、その旨をお書き添えください) たのしい作品をお待ちしております！(広報部会)



発行：あびこ型「地産地消」推進協議会

会長代行 斎藤徳剛

住所：270-1146 我孫子市高野山新田193 (「水の館」2F)

(業務日 月・火・木) 9:00~17:00

Tel 04-7128-7770 Fax 04-7128-7771

E-mail info@abiko-chisan.com

ホームページ <http://abiko-chisan.com/>

(協議会ホームページではカラーでご覧いただけます)

